



令和元年10月3日

鹿沼商工会議所
会頭 木村 剛 考 様

鹿沼市長 佐 藤

信



令和2年度鹿沼市予算編成に対する提言・要望回答書

日頃より、市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
令和元年8月20日付（鹿商発第40号）で提出いただきました、「令和2年度鹿沼市予算編成に対する提言・要望」について、別紙のとおり回答いたしますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

鹿沼市総務部
鹿沼営業戦略課
広報広聴係
電話63-2128

令和2年度 鹿沼市予算編成に対する提言・要望

1. 商品券事業への支援について（新規）

医療費の増加という地域が抱える課題を解決することを目的に市民の健康づくりの活動にインセンティブを与える「健康ポイント制度」を導入する自治体が全国で増加しています。鹿沼市でも平成31年4月より「チャレンジ15（いちご）健康マイレージ」事業を始められ、健康づくりに対し、景品（鹿沼市共通商品券・栗野商品券）と交換ができる取り組みを実施しております。については、更なる景品及び事業の拡充をお願いします。

【回答】

今年度より開始された事業であるため、まだ実績がなく、今後申し込み状況等を見ながらより充実した事業の検討を進めていきたいと考えております。

2. 人手不足・少子化対策について（新規）

人口減少が加速し、少子高齢化が進む中、鹿沼市の生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）は、総人口よりも減少スピードが速く、あらゆる業種において人手不足は顕著となっております。特に中小・小規模企業では、今後ますます経営人材の人手不足である事業承継問題や受注拡大の障壁となることが予想されます。このような状況を少しでも打開するため、国も事業承継補助金等を創設しておりますが、人口流出防止、並びに少子化対策の積極的な推進と、雇用対策、事業承継等の鹿沼市独自の新たな助成制度等の新設をお願いします。

【回答】

本市では、地方創生事業の一つとして、若者や女性の雇用拡大やU I Jターンの促進を目指し、平成28年度から3年間、雇用と移住定住を連携させた事業に取り組んできました。交付金事業は終了しましたが、事業の成果を踏まえ、貴会議所を含めた関係機関の連携体制を維持しながら、引き続き合同面接会等の雇用対策事業を実施してまいります。

事業承継につきましては、市内企業経営者の高齢化が進んでおり、積極的な事業承継支援が必要と考えております。貴商工会議所・商工会をはじめ、関係機関と協力しながら、市内企業の円滑な事業承継に取り組んでまいりたいと思います。また、支援策の一つとして、新たな融資制度の創設を検討してまいります。

3. 観光・イベント情報発信について（継続）

昨年、テレビ番組で鹿沼市が放送され、今でも多くの観光客が訪れています。このようにテレビ番組等の影響は大変大きいものがあります。ついては、鹿沼市で行うイベント等の集客増加を図るため、鹿沼にゆかりのあるタレントの起用や、テレビ等のメディアに取り上げていただけるような広報活動の強化をお願いします。

【回答】

テレビをはじめとしたマスメディアによる広告効果は、非常に大きいものがあります。そのため市でも、パブリシティの拡大やテレビ番組の誘致などのメディアセールスに取り組んでいるところです。

今後は、積極的なセールス活動を継続するとともに、ふるさと大使の活用などに加え、ご提案のような新たな人材の起用を含め、貴商工会議所・商工会及び関係機関にご協力をいただきながら、メディアのアンテナに触れるような情報発信に努力してまいります。

4. 建具・組子等の木工技術者の育成について（新規）

企業にとって技術・技能伝承は非常に重要なことですが、職場での教育は人材と時間が必要となり中小・小規模企業が実施するには非常に難しい状況です。また、木工の分野では技術の継承が課題となっており、将来においては技術者が不足する懸念があります。そのため企業、行政が一体となって技術・技能伝承を推進していける仕組みづくりが必要と思われます。鹿沼の地場産業の厳しい現状を踏まえ木工技術の伝承、人材育成等のため、鹿沼共同高等産業技術学校に建具・家具等の木工科の設置をお願いします。

【回答】

労働人口の減少が続く中、本市の産業を担う技術者の育成・技能の継承が課題となっております。鹿沼共同高等産業技術学校新たに建具・家具等の木工科を設置するには、次のような課題があります。

まず、ハード面では、現在実習室は全て使用しており、実習できる部屋がない状況です。また、機械や工具類を新たに用意するための予算や、設置するスペースの確保などの問題があります。

次にソフト面では、資格を持った指導員や生徒の確保が挙げられます。平成29年度からは、希望する生徒がいなかったため土木施工課が廃止となっております。

これらの課題をクリアし、新たな科を設置することは難しい状況ではありますが、木工技術の伝承、人材育成等のため、運営主体の鹿沼共同高等産業技術学校運営会と協議・検討してまいりたいと思います。

5. 用途地域の見直しについて（新規）

近年の住宅環境の変化や県道宇都宮鹿沼線が開通するなどの道路事情の変化があり、用途地域に定められた土地利用の制限に課題があるように思われます。商業施設・店舗をはじめとする地域づくりの活性化のため、また、鹿沼市の将来的な都市像を見据え、その時代の状況に応じた用途地域の見直しに取り組んでいただくようお願いいたします。

【回答】 都市計画課

用途地域については、住居、商業、工業などの用途を適正に配置し、市街地形態の多様化に対応するため、地域ごとの特性にふさわしい土地利用となるよう定めており、これまでも土地区画整理事業などの面的整備事業に伴い、見直しを行ってきました。

将来に向けた用途地域の見直しについては、人口構造の変化等の社会情勢や、土地利用の動向、都市基盤施設の整備状況などを勘案し、新たな市街地像に対応した用途地域に変更することが相当な場合には、地域住民の意見を聴きながら、見直しを行っていきたいと考えています。

6. 外国人観光客受け入れ体制の強化について（新規）

栃木県では「とちぎ観光立県戦略」策定に基づき、国内外の観光客から選ばれる「観光立県とちぎ」を目指しています。鹿沼市においてもインバウンド対策、外国人受け入れ環境の整備等については、誘客するうえで非常に重要であると思います。

そこで、誘客等の環境整備に向けた行政、事業者等の協議の場を設けていただくようお願いいたします。

【回答】

人口減少が叫ばれる中、観光客などの交流人口の拡大により地域経済の振興を図ることは大変重要であります。

中でも、訪日外国人旅行者は、平成30年には3,000万人を超えておりますので、インバウンド対策は非常に有効であると考えられます。

今後、外国人に魅力的な観光コンテンツを発掘し、積極的に発信していきたいと考えておりますが、インバウンド対策で何より重要なのは、受け入れる側である事業者の皆様のご理解とご協力であると考えております。

今回のご要望により、貴商工会議所、貴商工会でもインバウンド対策が重要との認識であることが分かりましたので、今後の推進に向けてぜひとも皆様のご意見を賜りたいと考えております。

7. 道路交通網の整備促進について（継続・一部新規）

鹿沼市内の幹線道路の整備は、近年大幅に進んできておりますが、地域によってはさらに改善すべき箇所が見受けられますので、国、県等と十分協議を進められ、早期に道路整備が図られるようお願いいたします。

（1）さつきロードは、主要工業団地である「産業未来基地とちぎ中央」（みぶ羽生田産業団地）や物流基地である「とちぎ流通センター」などが近接しており、産業振興には欠かすことのできない重要な道路です。

また、本県においては、2022年に「いちご一会とちぎ国体」の開催も予定されているところであります。本道路は、東北自動車道鹿沼インターチェンジと国体のメイン会場となる栃木県総合グラウンドを最短でアクセスする道路となっていることから、通行料金を徴収せずに広く利用してもらうことが来場者数の増加につながるため、おもてなし向上や観光振興などの観点から「いちご一会とちぎ国体」期間中の通行料金の無料化をお願いいたします。

また、併せて産業振興の観点からも「いちご一会とちぎ国体」以後も期間を定めた通行料金の無料化並びに徴収期間終了の早期前倒しをお願いいたします。

【回答】

さつきロードにつきましては、開通以来、本市南部と宇都宮上三川インターチェンジ周辺地域などを結ぶ重要な基幹道路として、市民生活の利便面はもとより産業振興面で大きな役割を担ってまいりました。

さつきロードの無料化につきましては、2026年3月に予定されておりますが、無料化により、既存の鹿沼工業団地、木工団地等への利便性の向上が図られる外、さらなる地域経済の活性化・産業の振興が期待されています。

また、2022年に開催される「いちご一会とちぎ国体」では、総合グラウンドのメイン会場と競技会場の一つである鹿沼総合体育館とを結ぶ重要な道路となることから、県に対して国体期間中の通行料金無料化について要望したところ、県、市、道路公社の3者で協議しながら検討していきたいとの回答がありました。さらに、今年度においては、当該道路に近接する新産業団地整備に向けた県企業局による基礎調査の実施が決定しており、今後も関係団体と協力しながら、早期無料化に向け取り組んでまいりたいと考えております。

(2) 鹿沼工業団地、鹿沼 I C 方面から、とちぎ流通センターにつながる道路は、年々交通渋滞が著しく、みぶ羽生田産業団地の大型工場が稼働するなど益々通行量の増加が見込まれますので、鹿沼 I C からとちぎ流通センターまでの道路拡幅をお願いします。

【回答】(都市建設部 土木課)

鹿沼 I C 方面から、とちぎ流通センターにつながる道路は、都市計画道路 3・5・206 号 鹿沼インター通り(主要地方道 宇都宮楡木線)として幅員 12.0m(2車線、両側歩道)で整備された道路ですが、周辺には鹿沼工業団地やとちぎ流通センター等の立地や栃木県免許センター及び鹿沼総合体育館等の施設があり、また高速道路インターチェンジにアクセスする道路であることから、朝夕のピーク時には一時的な渋滞が発生している状況です。

現在、近傍で事業実施されている国道 121 号の早期完成に向けた事業推進を要望するとともに、本市が実施している市道 0029 号線や市道 0004 号線の整備推進を図り、新産業団地などの立地等道路環境、交通状況の変化を勘案しながら、栃木県に要望を検討してまいります。

(3) 鹿沼環状線の全線開通により渋滞の緩和、通勤時間等の短縮効果が見込まれます。ついては、現在、古峰ヶ原宮通りまで開通しておりますが早期に北鹿沼までの開通をお願いします。

※ 0017 号線(環状線/旧野沢釣具店~北鹿沼)

【回答】(都市建設部 土木課)

都市計画道路 3・4・203 号 鹿沼環状線は、本市における外郭環状を形成する重要な路線であるとともに、国道 293 号のバイパス的要素を持ち、南北主要幹線道路にも位置付けされており、全長 10,570mのうち、7,870mが完成しております。

未整備箇所のうち、国道 293 号仁神堂町 交差点から古峰ヶ原宮通りまでの約 2,100mの区間については、現在、栃木県鹿沼土木事務所により整備を進めております。

また、東武日光線 北鹿沼駅から県道 板荷玉田線までの区間については、現在、具体的な整備計画等はありません。

本市では、JR 鹿沼駅東側の鹿沼駅東通りやとちぎ流通センターから新たな新産業団地を結ぶ市道 0004 号線の整備をはじめ、その他にも通学路の歩道整備や工業専用地域の市道整備等を実施しており、これらの事業の早期完成を目指しながら、関係機関と協議を進め、事業化に向けた検討を進めてまいります。

(4) 市道0014号線 公設市場前から桜塚十文字までの区間については歩道整備がされているものの、高速道路ガード下付近は道幅が狭いうえに大型車の往来も激しく、自転車等での通学時に危険性があるため歩道設置に伴う道路拡幅をお願いします。

【回答】(都市建設部 土木課)

市道0014号線の上石川地内 市道0003号線との交差点(ファミリーマート前)から桜塚十字路までの延長 約1,200mの道路改良事業につきましては、幅員11.0m片側歩道の計画で、平成5年度に事業に着手し、改良工事を進めていたところ、排水先の権利者の合意が得られず、平成11年度に事業を中断し、現在に至っております。

東北自動車道交差部については、現在のアンダーパスの西側に、新たにアンダーパスを整備する計画となっております。この東北道直下部の工事は、多額の事業費を要することから、事業の再開については、現在実施中の事業の進捗や財源の確保等を慎重に見極め、検討してまいります。